

地域建設業の現状と課題、その再生への道筋

有限会社アックス代表取締役

山北 浩史



「暗黒模索の中に
ある地域建設業」

「建設業一再考」
建設業は産業の基幹

「建設市場一再考」
拡大している建設市場

「業態開発戦略」
建設業は「土木・電気・建設」

「海外進出」
高国内依存度からの脱却

「新分野進出」
建設業以外の事業収益への

「地域密着型市場」
「新しい公共」のもと、今後の

「再生への道筋」
地域社会の担い手・豊かな国づくりの立役者

「モノ」から「コト」への転換

「建設立国」の担い手

業態開発、新しい公共も

急激な建設投資の減少の中にあつて、建設業は依然、供給過剰構造である。過剰競争で受注価格は低下し、企業の収益構造は悪化、建設業は厳しさを増す一方である。社歴の長い建設業者の多くは、好景時に蓄えた資産で生き長らえていこうという状況である。その結果、建設業者数の減少と市場縮小がアンバランスとなつて

供給過剰構造が解消された場合、「縮小均衡」による建設技術の維持が懸念される。事業者間の過度な競争があるものの、市場規模が縮小したが、特定の建設技術が維持されないことは課題である。特に、地域において、その域内に不可欠な建設技術が継承されないことは社会的課題である。その代表例が、「災害対応空白地帯の発生」である。これによつて、「社会的費用」が発生する。すなわち、災害時、域外の建設業者等によつて災害復旧がなされる。この際、災害復旧の時間コスト(復旧が遅れることによる経済的損失)は増加し、域外からの資材・機材搬入・輸送コスト等諸費用が増加し、復旧コストは増大する。また、除雪等の対応が滞り、交通機能が麻痺し、域内経済活動が停滞することも課題である。さらに、歴史的建造物・文化財の保護・修

「建設業一再考」
建設業は産業の基幹

「建設市場一再考」
拡大している建設市場

「業態開発戦略」
建設業は「土木・電気・建設」

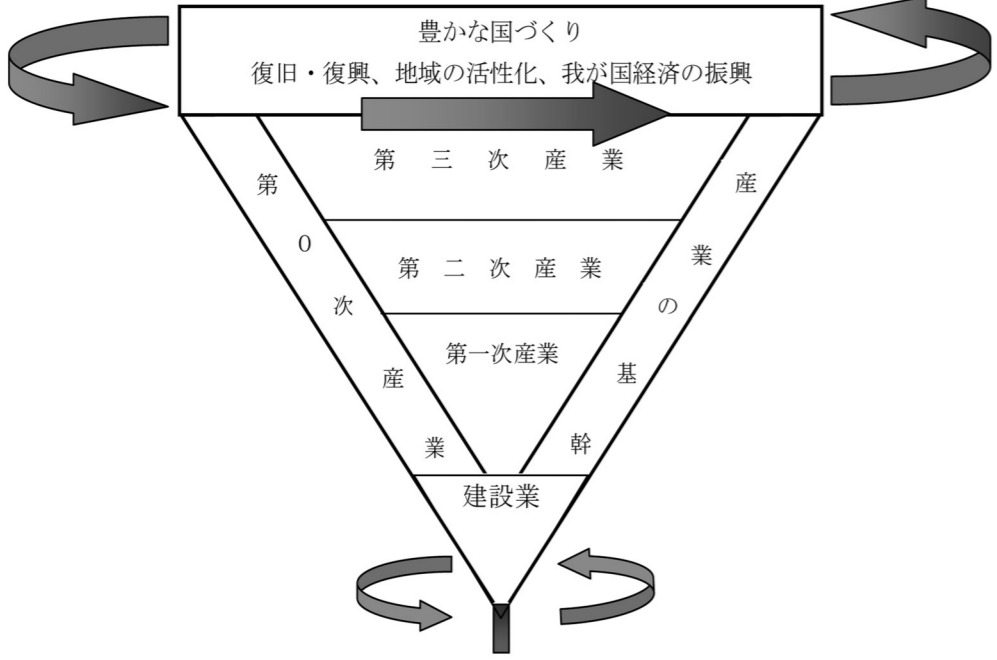
「海外進出」
高国内依存度からの脱却

「新分野進出」
建設業以外の事業収益への

「地域密着型市場」
「新しい公共」のもと、今後の

「再生への道筋」
地域社会の担い手・豊かな国づくりの立役者

図 建設業の地位と役割 (駒を廻す主役)



「インフラ(社会資本)再考」
インフラストラクチャー(略して「インフラ」)あるいは「社会資本」とは、「地域社会に必要な基礎システムやサービス」のことである。決して、「道路」や「橋」等、見える「建築物」だけを意味するものではない。地域社会に不可欠なシステムある

「再生への道筋」
地域社会の担い手・豊かな国づくりの立役者

「海外進出」
高国内依存度からの脱却

「新分野進出」
建設業以外の事業収益への

「地域密着型市場」
「新しい公共」のもと、今後の

「再生への道筋」
地域社会の担い手・豊かな国づくりの立役者

財団法人
建設業振興基金
理事長 内田 俊一
〒105 東京都港区虎ノ門四丁目十二番二号(虎ノ門ビル)7F
電話 〇三五四七三 四七〇

財団法人
建設業情報管理センター
理事長 松井 邦彦
〒104 東京都中央区築地2丁目11番24号(第29期ビル7F)
電話 〇三五五六一 一三一

Advertisement for various construction companies including Ogasawara, Shimizu, and others.